

平成15年3月期 中間連結決算参考資料(14.4~14.9)

()内は、前年中間期比増減率

	前年中間期実績 (13.4~13.9)	当 中 間 期 実 績 (14.4~14.9)	当 期 予 想 (14.4~15.3)
販 売 台 数	269万台	301万台 (12.1%)	620万台
	億円	億円	
売 上 高	68,335	78,866 (15.4%)	
営 業 利 益	5,065	7,308 (44.3%)	
< 利 益 率 >	< 7.4% >	< 9.3% >	
経 常 利 益	5,266	7,940 (50.8%)	
< 利 益 率 >	< 7.7% >	< 10.1% >	
税金等調整前中間純利益	5,266	9,800 (86.1%)	
< 利 益 率 >	< 7.7% >	< 12.4% >	
中 間 純 利 益	2,911	5,537 (90.2%)	
< 利 益 率 >	< 4.3% >	< 7.0% >	
増 減 益 要 因 < 営 業 利 益 >		営業利益は、2,243億円の増益 (増益要因) 億円 原価改善の努力 1,500 為替変動の影響 900 営業面の努力 800 (減益要因) 億円 研究開発費および 労務費の増加ほか 957	
	億円	億円	億円
設 備 投 資 (除 く リ - ス 用 車 両)	3,815	4,798	9,800
減 価 償 却 費	3,357	3,609	7,100
研 究 開 発 費	2,510	2,940	6,800
業 績 評 価		増収増益 (売上高、営業利益、経常利益、税金等調整前中間純利益、中間純利益とも中間決算としては過去最高)	
従 業 員 数 (就 業 人 員 数)	239,767人	253,842人	

【注意事項】

上記の「当期予想」に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確実性および変動可能性を有する要素としては、主に以下のようなものがあります。

- ・ 主要市場における経済情勢および需要の変動
- ・ 為替相場の変動(主に円/米ドル相場、円/ユーロ相場)
- ・ 原価低減や設備投資を計画通り実施する当社および連結子会社の能力
- ・ 主要市場における貿易規制、および環境保全、自動車排気ガス、燃費効率、安全性等に関する各種法律、規制
- ・ 主要市場における政治情勢
- ・ 適宜、新製品を開発し市場へ投入する当社および連結子会社の能力
- ・ 当社および連結子会社が事業活動を行う上で生じる当社および連結子会社の責に帰すことのできない様々な障害